



2021.12.17 No. **41**

**HAKUA TSŪSHIN**

岩手県立盛岡第一高等学校白聖同窓会事務局

Olympic  
1936-2020

# 白聖と オリンピック

世界に挑んだ  
盛岡一高生のレガシー



大宮政志【自転車】  
1960 ローマ  
1964 東京

八重樫茂生【サッカー】  
1956 メルボルン  
1964 東京  
1968 メキシコ

工藤孝一  
【サッカー日本代表コーチ】  
1936 ベルリン

菊池信【ホッケー】  
1936 ベルリン

菊池悟【ハンドボール】  
1976 モントリオール

〒020-8515 岩手県盛岡市上田 3-2-1  
TEL・FAX (019)624-0765(白聖記念館)  
mail: info@hakua1880.jp  
TEL (019)623-4491(学校)  
<http://www2.iwate-ed.jp/mo1-h/>(学校)  
<https://hakua-dousoukai.jp/>(同窓会)

平成16年卒  
岩手日報社・五輪担当記者

## 金野訓子さんインタビュー



Olympic 1936-2020

盛岡一高に寄贈された当時の貴重なジャケット



工藤孝一さん (1936年ベルリン大会)



八重樫茂生さん (1964年東京大会)



八重樫茂生さん (1968年メキシコ大会)



菊池悟さん (1976年モントリオール大会)



1976年モントリオール大会  
ハンドボール出場

菊池 悟さん

菊池悟さんは、1968年本校入学後にハンドボールを始めた。在学中から頭角を現し、2年時には群馬インターハイ出場、3年時には岩手国体3位の中心メンバーとして活躍した。早稲田大学進学後は、2年時には関東学生リーグ得点王、3年時には関東リーグ優勝の原動力となり、全国的にも注目される選手となる。4年時には全日本チームにも召集され、世界選手権大会に出場を果たした。卒業後は東京12チャンネルに入社したが、同社にはハンドボール部がなく、稲門会のOBが菊池さんのためにチームを作って練習を重ねることができたという。地道な練習と実績が実を結び、1976年モントリオールオリンピックに23歳で出場。186センチ、85キロと恵まれた体の持ち主で、豪快なジャンプシュートとスピードあるプレーに定評があった。五輪ジャケット一式は白聖記念館に寄贈されており、常設展示されている。



1960年ローマ大会、1964年東京大会  
自転車出場

大宮 政志さん

大宮政志さんは、本校在学中の1956年に全国高校対抗ロードレース大会の個人・団体の部で優勝を果たし、全国高校大会・国体でも好成績を収めた。日本大学在学中にはロードレースの日本代表となり、世界自転車選手権やローマ五輪個人ロードレースでも出場を果たした。1962年アジア大会ではロードレース個人で2位に入るなど世界レベルの成績を残す。1964年東京五輪はメダル候補として臨む。1周約24キロのコースを8周。大宮さんは落車のトラブルを乗り越え、先頭集団に入る。50名を超える大混戦。大宮さんはトップとわずか0秒13ながら36位で五輪を終えた。大宮さんは五輪後、競輪選手として活躍。1996年58歳まで現役を続けた。引退後は関東の高校で自転車競技部のコーチを務め、2018年4月には競輪選手の育成を行う大宮道場を東京都立川市に設立した。滝沢市スポーツ功労者、現在83歳。



1956年メルボルン大会、1964年東京大会、  
1968年メキシコ大会、サッカー出場

八重樫 茂生さん

八重樫茂生さんは、1956年のメルボルン五輪・1964年の東京五輪・1968年のメキシコ五輪にサッカー選手として3度出場している。ポジションはMF。1956年のメルボルン五輪では早稲田大学在学中に日本代表に選出されている。在学中には既述の本校オリンピックの1人である工藤孝一さんの指導を受けている。1960年のローマ五輪の予選は怪我で出場出来ず日本代表も本大会出場を果たせなかった。1964年の東京五輪では古河電工(現ジェフユナイテッド市原・千葉)に所属しており、1936年ベルリン大会以来となるベスト8進出を果たした。1968年のメキシコ五輪では35歳になり主将として出場したが、初戦にラフプレーを受け靱帯断裂の怪我を負う。残り試合出場は不可能となるが、選手のサポートに徹し銅メダル獲得に貢献。「伝説のキャプテン」と呼ばれた。2005年には第1回日本サッカー殿堂入りを果たした。



1936年ベルリン大会  
ホッケー出場

菊池 信さん

菊池信さんは、1924年に盛岡中学に入学生、在学中は「盛中式フットボール」というサッカーに似たスポーツに興じていたという。東京商大予科(現一橋大学)に進学してからは、グランドホッケーにのめりこんだ。東京商大在学中は全日本選手権連覇を達成し、得点の6割を菊池が占める、というポイントゲッターにまで成長した。1936年にはベルリンオリンピックに出場し2勝1敗となるも惜しくも決勝トーナメント出場を逃す。ベルリンオリンピックの次回大会である1940年の東京オリンピック出場を心待ちにしていた菊池さんであったが、戦争の影響で1940年東京五輪開催は幻となる。菊池さんは晩年、1980年のモスクワオリンピックにおいて日本が政治的な理由で不参加を表明した際、新聞の取材に「まずは国際平和が先決であり、世界の足並みが揃わなければ五輪としての意義もない」と自身の幻の東京五輪と重ねて発言している。



1936年ベルリン大会  
サッカー出場

工藤 孝一さん

後述の菊池信さんとともに、本校初のオリンピック出場者である工藤孝一さんは、1926年、盛岡中学を卒業。早稲田大学へ進学しFW、GKとして活躍した。大学卒業後は同大学のサッカー部監督を務めた。1936年ベルリンオリンピックのサッカー代表ヘッドコーチとして出場、この大会はサッカー日本代表が初めて出場したオリンピックである。日本の初戦、優勝候補であったスウェーデンを3-2と逆転勝利を収めており、これは「ベルリンの奇跡」とまで言われ、大きな驚きとなった。1948年に帰郷し、高校生を指導。特に本校ではオリンピックメダリストである八重樫茂生さんに目をとめ熱心に指導した。再び東京に戻り、早稲田大学サッカー部の監督に就任、1963年、1966年に日本一に導いている。早稲田大学で工藤さんの指導を受けた選手は八重樫茂生さん、川淵三郎さん、釜本邦茂さんなど現在の日本サッカー界を築いた、錚々たるメンバーであった。

※お名前前の読み方は、同窓会事務局に登録されている読み方によるものです。

Olympic 1936-2020  
白聖と  
オリンピックピアン

世界に挑んだ盛岡一高生のレガシー



東京五輪2020の取材許可証とメディアハンドブック

金野・今回の東京五輪は前回の東京五輪のようにインフラの整備や、建築物をレガシーとして残すことに重きを置いた大会ではありませんでした。また、コロナ禍で開催された緊急事態宣言下で開催されたことで観光的・商業的な意味も失われていました。未来に立つた時にこの東京五輪が日本の価値観や歴史の分岐点になるほどの意義があったのか、これからのスポーツ界、日本社会で作り上げていくものかもしれないと思います。多様な価値観、多様性を認め合う社会にまだまだ日本はなっていないと思います。東京五輪



(左) 日本橋に展示されたビッグメダルモニュメント  
(上) 台場の海に浮かぶ五輪マーク  
(下) 五輪開会式の日、昼ごろ都内上空を飛行するブルーインパルス



金野・コロナ禍で賛否両論がある中でどうやって発信したらよいかどうか、苦心した五輪取材でしたが、結局「スポーツっていいよね」ということが一番伝えたいことかもしれない。トップ選手の世界的レベルのプレーを見て感動することってシンプルに素晴らしいことだと思えます。岩手に

パンデミックの中で開催された東京五輪2020。金野記者も選手同様、人との距離を保ちながらバス移動したり、ホテル内での食事を徹底したり、感染する不安と隣り合わせの状況の中、最前線で取材していたそうです。今回の東京五輪を価値あるものとするのは、未来にむかって多様性を受容する姿勢である、という言葉に編集委員一同、感銘を受けました。(平成12年卒 熊谷松亮、吉田伸、角原久夫)

熱狂を一般の方と感ずることができたのは、札幌会場の競歩でした。沿道に人がいて応援や熱狂を分かち合っていて、これが本来の五輪の姿なのかもしれないと再確認しました。

を未来から見た時に、日本社会に多様性を与えたきっかけとなった大会である、となることを期待したいです。

関することであれば、7名の方が出場したのは過去の夏季大会では最多でした。岩手の人も世界に飛びたてるし、色々な可能性を地元の人に見せてくれたのだと思えます。

黄否両論があった今回の東京五輪を終えてみて、東京五輪2020の意義について金野記者はどう感じますか。

後輩の皆さんや若い世代に伝えたいことがあればお願いします。

無観客会場という特殊な状況でしたが、現場で感じたことをお聞かせください。

本日、金野記者が東京五輪の取材を岩手日報社で「担当された」と伺いまして、インタビューを

コロナによって東京五輪開催が2020年3月半ばに延期決定となったことをどのように受け止められましたか。

金野・無観客で基本的に試合は行われており、声援が飛ばない中でプレーは目の前で本場にオリンピックが開催されているのか、という錯覚を感じました。そのような中でしたが、日程が進むことにボランティアや記者など会場にランスタッドや、少いですが、選手に拍手や声援をかけてあげたい、という空気を共有するようになっていきました。影響力、カリスマ性のようなものを五輪選手のプレーや技術は持っているのを感じました。そういった意味では、会場での

金野・東京五輪の取材に関わることになったのは2019年でした。今回の取材は、岩手県で五輪に出場する選手7名を追いかけ、というものでした。地元の人を取材で追うことは、身内を身近で応援しているような気持ちで取材に当たることになります。地元愛が入った取材ができることが地方記者として仕事の醍醐味だったな、と感じています。

金野・延期の報を聞いたのは福島で福島入りした後でした。今回は復興五輪という意義を持っていましたので、当初は世界中の人に東北を盛り上げて観光客を呼び込みながら震災からの復興を知ってもらう、応援してもらおう、という側面がありました。コロナによって経済的な効果はほぼ失われてしまったように思いますが、トーチリレーの取材を通じて世界に東北の風景を届けることができたことは良かったかもしれません。また、選手だけでなく、我々記者も来年果たして開催されるのか、と

金野・無観客で基本的に試合は行われており、声援が飛ばない中でプレーは目の前で本場にオリンピックが開催されているのか、という錯覚を感じました。そのような中でしたが、日程が進むことにボランティアや記者など会場にランスタッドや、少いですが、選手に拍手や声援をかけてあげたい、という空気を共有するようになっていきました。影響力、カリスマ性のようなものを五輪選手のプレーや技術は持っているのを感じました。そういった意味では、会場での

金野・延期の報を聞いたのは福島で福島入りした後でした。今回は復興五輪という意義を持っていましたので、当初は世界中の人に東北を盛り上げて観光客を呼び込みながら震災からの復興を知ってもらう、応援してもらおう、という側面がありました。コロナによって経済的な効果はほぼ失われてしまったように思いますが、トーチリレーの取材を通じて世界に東北の風景を届けることができたことは良かったかもしれません。また、選手だけでなく、我々記者も来年果たして開催されるのか、と

金野・無観客で基本的に試合は行われており、声援が飛ばない中でプレーは目の前で本場にオリンピックが開催されているのか、という錯覚を感じました。そのような中でしたが、日程が進むことにボランティアや記者など会場にランスタッドや、少いですが、選手に拍手や声援をかけてあげたい、という空気を共有するようになっていきました。影響力、カリスマ性のようなものを五輪選手のプレーや技術は持っているのを感じました。そういった意味では、会場での

金野・無観客で基本的に試合は行われており、声援が飛ばない中でプレーは目の前で本場にオリンピックが開催されているのか、という錯覚を感じました。そのような中でしたが、日程が進むことにボランティアや記者など会場にランスタッドや、少いですが、選手に拍手や声援をかけてあげたい、という空気を共有するようになっていきました。影響力、カリスマ性のようなものを五輪選手のプレーや技術は持っているのを感じました。そういった意味では、会場での

岩手日報記者  
金野訓子さん  
インタビュー  
特集「白聖とオリンピック」。続いては、岩手日報社の金野訓子さん(平成16年卒)の登場です。コロナに振り回されながらも、岩手日報社の五輪担当として、郷土のオリンピック達を追い続けたこの3年間を白聖通信のために語っていただきました。



さんののりこ  
金野 訓子さん  
平成16年卒。株式会社岩手日報社報道部次長。東北大学文学部卒業後に20年に同社に入社し、北上支局や東京支社でも勤務した。

令和3年度 白聖同窓会一般会計予算

収入 (単位：円)

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 前年度予算額, 比較, 摘要. Rows include 繰越金, 会費, 入会金, 予納金, 繰入金, 雑収入, 計.

支出 (単位：円)

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 前年度予算額, 比較, 摘要. Rows include 事務費, 慶弔費, 旅費, 会議費, 事業費, 総会関係費, キャリアアップ講演会費, 名簿作成費, 会報刊行費, 事務局員費, 国際交流費, 財産積立繰入金, 周年事業費特別会計繰入金, 部活動等奨励費, 夜間照明設備費, 会費振込手数料, 予備費, 計.

令和2年度 白聖同窓会一般会計決算

収入 (単位：円)

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 比較, 摘要. Rows include 繰越金, 会費, 入会金, 予納金, 繰入金, 雑収入, 計.

支出 (単位：円)

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 比較, 摘要. Rows include 事務費, 慶弔費, 旅費, 会議費, 事業費, 総会関係費, キャリアアップ講演会費, 名簿作成費, 会報刊行費, 事務局員費, 国際交流費, 財産積立繰入金, 140周年事業費負担金, 部活動等奨励費, 夜間照明設備費, 会費振込手数料, 予備費, 次年度繰越金, 計.

令和3年度白聖同窓会役員

- 会長 藤尾善一 (昭和45年卒)
副会長 林晶子 (昭和46年卒)
副会長 阿部弘一 (昭和50年卒)
副会長 高橋瑞彦 (昭和52年卒)
副会長 梅津久仁宏 (昭和56年卒) (校長) 新任
監事 千葉弘 (昭和41年卒)
監事 吉田雄一 (昭和45年卒)
監事 工藤重信 (昭和50年卒)

- 常任幹事長 高橋瑛至 (昭和40年卒)
常任幹事 木村みな子 (昭和45年卒)
常任幹事 森義真 (昭和47年卒)
常任幹事 中野孝之助 (昭和48年卒)
常任幹事 内山篤美 (昭和49年卒)
常任幹事 藤澤和義 (昭和52年卒)
常任幹事 菊地研也 (昭和53年卒)
常任幹事 佐久山衛 (昭和61年卒)
常任幹事 谷地館勝 (平成元年卒)
常任幹事 大森健一 (平成2年卒)
常任幹事 早野俊一郎 (平成14年卒)
常任幹事 駒込武志 (副校長)
常任幹事 亀山丈 (昭和63年卒) (副校長) 新任

「雲外蒼天」

白聖同窓会会長 藤尾善一 (昭和45年卒)



会員各位にはお元気で過ごしのことと存じます。同窓会活動には格別のご支援とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

すでにご案内のとおり、今年と同窓会の総会、懇親会や応援旗祭につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、昨年引き続き、中止の止むなきに至ったところです。誠に残念であり、この時を楽しみにされていた会員の皆様には大変申し訳なく、心からお詫び申し上げます。

また、在京白聖会ははじめ、各地の白聖会からも中止の報告を頂いたところです。

このコロナ禍、様々な制約下でありながらも、後輩諸君は、一高生としての気概をもって、日々勉学に励み、クラブ活動にも精を出し、青春を謳歌する日々であると伺っており、何よりもうれしく存じております。このような時代であるからこそ、あるいはこのような時代でしか、獲得できない力があるとすれば、かけが

えのない好機ととらえ、あらゆることに果敢に挑戦してほしいものと存じております。

また、会員同士にあっても普段気の向くままに交流できていたことが儘ならず改めて遠き畏友や母校に思いをいたしたり、絆あつてこそその交流の大事さを再認識することとなったのではないかと存じております。

いずれ、「雲外蒼天」です。「必死になってドンとゆくぞ!」(第六応援歌)の心意気で前向きにいきたいものと存じております。

引き続き、同窓会としては同窓生相互の親睦を深めるための交流活動、後輩諸君の育成支援並びに母校の施設等環境面の整備、充実支援等のために鋭意努めて参りますので、よろしくお願い致します。

コロナ禍が収束し、一刻も早く皆様と元気に校歌を歌える日の到来を願いつつ、最後になりますが、母校の更なる発展と同窓生各位のご健勝、ご活躍を祈念し挨拶と致します。

「恩師」

校長 梅津久仁宏 (昭和56年卒)



同窓生の皆様には日頃より本校の教育活動にご理解、ご支援を賜っておりますことに厚く感謝申し上げます。本年4月に着任いたしました梅津久仁宏と申します。私は昭和56年卒業で、1年次には野球部が甲子園出場、3年次には100周年という学年です。

私は数学の教員です。私が数学教員になったのも高校時代に出会った数学の先生方のお蔭だと思っております。いささか個人的なことですが、当時の思い出を記させていただきます。

1年生のときの先生は山田預喜先生です。前期中間考査後の授業で答案が返却されるときだったと思います。答案を受け取るときに先生からかなり厳しく叱られました。理由は単純で「こんな簡単な因数分解を間違っはいけない。こんなミスをしてはいけない。」といったものでした。決して授業態度に問題があったわけではなく、宿題を出さなかったわけでもなく、ただ単にテストで計算ミスをしただけでこんなに厳しく叱られるのかと、やや理不尽さを感じながらも反省したものでした。私が教員になってからも度々お会いする機会があるのですが、先生はそのときのことをしっかりと覚えておられて「あんなミスをしてはいけない。」と今でも言われます。私が30代前半に盛岡北高に勤めていたとき、山田先生が敬頭先生でした。

2年生のときの先生は佐藤三樹夫先生です。当時、新採用教員であった先生は良く言えば年齢が近く兄貴分のようにであり、悪く言えば生徒から少々なめられているといった感じでした。私は数学が好きでしたし、何でも気軽に話ができる先生が好きだったので、受験雑誌「大学への数学」を携え、毎日のように職員室に行って数学の質問をし、雑談をしました。先生と話をするためのネタとしての質問を探すために勉強をしていたといった感じでした。私は初任が葛

巻高校ですが、そのときの前任者が三樹夫先生でした。高校時代の恩師から仕事をバトンタッチされるということに恐縮しながらも、一方では光栄にも感じました。

3年生のときの先生は三田信一先生です。当時、東北新幹線は開業前でしたが、先生は前沢の自宅から一高へ東北本線で通勤されていました。分かりやすい授業で、生徒から信頼されていました。3年生の授業は大学進学に向けて問題演習が主となりますが、ある時、渡されたプリントの問題がすでに解いたことのある問題だったので鉛筆も持たずにぼんやりとしていたところ、先生から指名され、解法を説明しなさいと言われました。一度解いたことのある問題だったので即答したところ「そうか」と言ってその場は終わりましたが、何年か経ってからお会いしたときに先生はこのことを覚えていらして、「集中力を欠いていてやる気がないのかと思って当てたら、すぐに答えられてしまった。お前は生意気だったな。」と笑っておられました。私が30代後半に一高に勤務したとき、三田先生が校長先生でした。

私と同年代の同窓生の皆様には懐かしくご記憶にある先生方ではないでしょうか。私は高校時代、先生方にとても恵まれたと実感しておりますし、深く感謝しております。上述の通り、教育の世界に入ってから様々な形でご指導をいただきながら教員としても育てていただきました。

現在の本校の生徒と教職員との関係も高校3年間だけで終わることなく、一生続いていって欲しいと思っています。この4月に校長として着任し、人と人との縁というのは本当にありがたく素晴らしいものだと思っております。

タイトル 佐々木 豪 (平成元年卒)



# 愛すべき街 盛岡

## ～岩手ビッグブルズ白聖同窓生の二人三脚～

1級違いながら共通の友人を介して高校時代はよく遊んでいたという2人。岩手ビッグブルズ(以下、ブルズ)の担当記者とスポンサーという立場で卒業以来の再会を果たしました。そこから、2人の運命は更に重なっていくことに…。ブルズ復活の陰には白聖同窓生の二人三脚の努力がありました。

### 水野社長とブルズの出会い、当時の印象などについてお聞かせください。

**水野:**ブルズとの出会いは前職の新聞記者時代です。スポーツ関係を取材する部署に配属されて、ブルズやグルージャの担当を経験しました。記者なのでスポーツ以外にもヘルプで県内各地へ取材に行く機会もあったわけですが、岩泉台風の被害状況の取材ですとか、人口が減少している地域の取材など、地域に元気がなくなっていく姿を目の当たりにする機会も多くありました。そんな地域をスポーツの持つ力で盛り上げていきたい、と思っていましたし、ブルズにはその力があるのではないかと、当時からぼんやり感じていました。

### 三浦社長とブルズの出会い、当時の印象などについてお聞かせください。

**三浦:**2013年に岩手に帰ってきた際にアパートの隣に住んでいた人が、偶然、ブルズの選手でした。家族ぐるみの付き合いをしていた関係で、誘われて試合を見に行ったのがブルズとの出会いです。私は大槌町出身でして、震災で色々悲しいことを経験しました。当時は震災からまだ2年しか経っていないこともあり、どこか楽しみ切れない暗い毎日を送っていました。そんな時に見たブルズの試合は、エンターテインメントとして完成されていて、衝撃を受けました。そこからすっかりブルズのファンになってしまい、毎試合ホーム戦を家族で見に行くのが楽しみになりました。

### お二人の再会についてお聞かせください。また、ブルズと深く関わるようになったきっかけを教えてください。

**三浦:**震災にあった子供達に元気になってもらいたいという思いで、大槌の子達をブルズの試合に招待したり、試合会場に足を運んでいたら、会場でたまたま、記者として取材でブルズの試合会場に来ていた水野さんと高校卒業以来で再会しました。水野さんとはしばらく会場よく会う間柄という付き合いが続き、私の方はブルズのスポンサー企業カネマンとしてブルズに関わる度合いが増えていきました。

### 水野社長がブルズの社長になったのはいつ頃ですか。また、当時ブルズはどういった状態だったのでしょうか。

**水野:**2018年の5月です。当時はクラブが色々複雑な問題を抱えており、シーズン途中でも社長交代となりました。どん底の状態だったかもしれません。2015年にBリーグが立ち上がったわけですが、5年以内に債務超過をクリアしないとリーグに参加する権利を失う、という取り決めがありま

した。債務超過という経営的に大きな課題を抱えていましたが、それ以上にブルズがなくなってしまふことを防ぎたいと考えていましたので勢いで社長を引き受けてしまったところはあったと思います。更に、社長就任1か月後には入れ替え戦で負けてB3に落ちました。さすがにまずいな、と思い、大口のスポンサーで同窓でもある三浦君に相談し、8月に経営的なサポートをしてもらうために、ブルズの取締役役に就任してもらいました。

**三浦:**当時のブルズはチームを強くするために投資もしなくてはならないし、債務超過を解消しなくてはならないという矛盾する二つの課題を抱えていました。そのような状態で社長に就任した水野社長を応援することと、震災の落胆から元気をくれたブルズをなくしたくない、という気持ちが強かったです。

### B3転落後のブルズはどうなったのでしょうか。

**水野:**2018-19シーズンは成績を出せませんでした。ただ、チーム理念を作り徹底し、意識改革と予算切り詰めを行い、単年黒字を達成しました。翌2019-20シーズンには、3連敗した後10勝以上して大きく躍進しました。しかし、コロナによってシーズン途中で試合が打ち切られ、残り1勝で昇格を逃しました。ブルズは強い、という印象からスポンサー企業が100社から300社以上に増え、観客動員平均は1400人を超え、リーグ1位を達成しました。何とか債務超過をクリアし、Bリーグから財務的に健全化したことを認められました。翌2020-21シーズンは後半が人が続出して粘りがなく、昇格を逃してしまいました。昇格は逃しましたが、2021年1月には、矢巾町からの支援で待望の専用体育館を手に入れました。あのどん底の状態から、専用の練習場を手に入れるところまで来れたのはたくさんの人の支えがあったからですが、とても嬉しかったです。専用練習場の存在は、選手にとって、練習に集中できる良いチームという評判につながっています。

### 3シーズンをかけて財務改革とスポンサー獲得、体育館獲得など、目覚ましい経営改善を行われたお二人。今シーズン(2021年11月現在)はなんと開幕から9連勝を記録。今後の目標や若い世代についての思いをお聞かせください。

**水野:**2026年にBリーグの経営基準が一段と厳しくなりますので、それまでに経営基盤の健全化をしていきたいと考えています。硬い回答ですみません(笑)。夢としては、ブルズのユースチームを整備



**水野 哲志 社長**  
平成15年卒。岩手ビッグブルズ代表取締役社長。株式会社岩手日報社の記者を退職後、現職に就く。



**三浦 崇 社長**  
平成16年卒。株式会社カネマン代表取締役社長(ブルズのメインスポンサー)、ブルズ取締役でもある。

して、ユースから上がってきた子達がブルズのトップ選手になる、という目標がありますね。子供たちの健全な育成をはかっていくというのは地域にとっても大きなインパクトになっていくと思います。

**三浦:**私の夢は盛岡の名物として、盛岡三大麺とともに、岩手ビッグブルズの名前が出てくることです。私よりも若い世代に対しては、私は震災での辛い経験があるのでやり残すことが嫌いです。やるかやらないか迷うくらいならどんどんチャレンジして欲しいと思います。

### ブルズが「愛すべき街『盛岡』」に貢献しているのは一言でいえばどこなところですか。

**水野:**グルージャとブルズ両方あって達成できていると感じているのですが、身近にプロスポーツの文化が根付き始めているのが嬉しいです。学校で地元のプロスポーツの話題ができるなんて、私たちが小さい時にはなかった「盛岡の愛すべき文化」だと思います。

### 最後に白聖同窓生に向けて一言お願いします。

**水野:**チームドクター、メディカルトレーナー、スポンサー、行政の方、気が付けば本当に多くの白聖同窓生にブルズは支えられています。高校時代はみんな勉強ができて、大変な学校に入ってしまったと後悔しましたが、今は盛岡一高に入って本当に良かったと思っていますし同窓会のつながりに感謝しています。



2021シーズン初めには、白血病を克服した高校生がプロ契約をすることで、医療界に関わる盛岡の人たちにも明るい話題を作ってくれた、と話題になりました。今後も新しい挑戦を続ける白聖の二人三脚を暖かく見守りたいものです。

(平成13年卒 三浦自雄、村上怜)

## 同窓会だより



昭和46年(1971年)3月母校を卒業した私達は、本年卒業50周年を迎えました。誠に感慨深いものがあります。またこの間、鬼籍に入られた方々に心からご冥福をお祈り申し上げます。

私達が盛岡一高に在籍した3年間、思い、深い出来事が数多くあります。1年生の時は野球部が久方ぶりに甲子園に出場、強豪校を破ってベストエイトに進出、バンカラ応援団とともに全国にその名を高めました。3年時の昭和45年には初の岩手国体が開催され、その数年前から市内は競技場や道路、新しい橋の建設等、活気に満ちていました。盛岡一高からも多くの選手が出場し、岩手県の大舞台に

獲得に貢献しました。また70年安保の年でもあり、盛岡でも若大生を中心に街頭デモが行われ、私のクラスからも参加者がいて、ちょっと騒がしかった事、創立90周年の式典が旧盛岡体育館で開催された事等々が懐かしく思い出されます。今振り返れば活気と夢に溢れた時代だったような気がします。

卒業して十数年がたった30代半ば頃、有志数人で集まり飲み会をしていたのを発展的に「18日会」と名付け、月1回毎月18日に会を開くようになり、堅苦しい挨拶や乾杯の音頭など一切無い自由な雰囲気の中、昔話や現在のとりとめの話の出来る時間は多感な高校生時代を共に過ごしただけに、何とも言えぬ解放感があります。当初は口コミで、その後は盛岡周辺在住者約百名には片道はがきで、そして現在ではほとんどの方にメールで開催通知をしています。それぞれの都合や、気の向いた時に参加すれば良い会なので多い時は20名を超す時もあり、少ない時は3、4人しか集まらない時もあります。いずれ盛岡でこういう会を開いている、その事が大事なんだと思っています。また夏は旧盆の時期に、冬はお正月2日か3日に、「ミニミニ白聖46会」を開催し、節目の10年ごとに卒業20周年から40周年迄、全国の46年卒に呼びかけ、恩師の先生方にもご出席いただいで盛大な会を開催してきました。しかし、コロナ禍の社会状況下(2021年)「18日会」も開催できず、本来ならば今年の夏頃開催予定だった「卒業50周年」も予定がたたずになっています。何とか来年早々コロナの感染状況を見て企画していきたいと考えています。

多感な青春時代の1ページを飾ってくれた母校盛岡一高に心から感謝を捧げるとともに、母校の益々のご発展を昭和46年卒業生一同心からお祈り申し上げます。

## 卒業50周年について

### 昭和46年卒次代表 菊田隆

昭和46年(1971年)3月母校を卒業した私達は、本年卒業50周年を迎えました。誠に感慨深いものがあります。またこの間、鬼籍に入られた方々に心からご冥福をお祈り申し上げます。

私達が盛岡一高に在籍した3年間、思い、深い出来事が数多くあります。1年生の時は野球部が久方ぶりに甲子園に出場、強豪校を破ってベストエイトに進出、バンカラ応援団とともに全国にその名を高めました。3年時の昭和45年には初の岩手国体が開催され、その数年前から市内は競技場や道路、新しい橋の建設等、活気に満ちていました。盛岡一高からも多くの選手が出場し、岩手県の大舞台に

## 松葉三針千歳蒼く

### 平成3年卒 前田健治

卒業してから早30年。それでもいまだに、何かの拍子に一高の応援歌が口について出ることがあります。「松葉三針千歳蒼く」。第十応援歌もその1つです。

現在私は、陸前高田市に住んでいます。陸前高田市は、ご存じの通り、10年前の東日本大震災で甚大な被害を受けました。私も、大津波警報の防災無線放送を聞き、無我夢中で高台にある病院へ走り出しました。

7年前に、総会担当次として、総会や講演会の準備のために盛岡に帰郷した際、旧友たちに、ねぎらいや励ましの言葉をかけてもらいました。時が経っても変わらない友情に胸を熱くしました。

ところで、陸前高田といえば、白砂青松の高田松原が知られていました。津波により、7万本の松のほとんどが失われてしまいました。ただ一本「奇跡の一本松」だけが残ったことは、皆様もご存じの通りです。

今年、高田松原は、10年ぶりに海開きをし、海水浴場として一般開放をするに至りました。そして今、その砂浜には、松の若木4



奇跡の一本松



松の若木

本本がすくすく育つていきます。若木たちが大きく育ち、以前のような松林を形成するには、およそ50年の年月が必要だと言われています。今はまだ、強い海風や舞い上がる砂から身を守るための柵の中に暮らしていますが、いずれは、この若木たちが砂浜を守り、ひいては陸前高田の町を守ってくれる「大丈夫」になってくれるものと、強い期待をもちながら、順調な成長を願っているところです。

さて、現在の盛岡一高の様子については、白聖通信をはじめとする各種機関誌や報道等により、私たち卒業生のもとに次々と届いています。在校生の昨今の活躍の記事を見るにつけ、着々と新たな芽が育ち、花開いていることを実感することができ、とてもうれしく思っています。震災の被害を受けた沿岸部の生徒へも、同窓会を中心に支援が行われたと聞き及びました。次世代を担う若者たちを温かく包み込む、大きく豊かな白聖のつながりに感じました。

「松葉三針」のフレーズは、高田松原の松の若木を見ていると、知らず知らずのうちに口について出てきます。現在の盛一と若木が重なって見えているのかもしれません。どうか皆様のこれからの「千歳蒼く」でありますように。御祈念申し上げます。



昨今はコロナ禍の中、新しい生活様式を求められ、支部活動も制限されました。各支部から届いた声を紹介します。

札幌白聖同窓会

会長 小笠原正明 (昭和36年卒)

いわゆるコロナ禍の世の中になつて以降、同窓の諸兄諸姉と気軽に懇親を深める状況でなくなつて...

札幌白聖同窓会をリアルで開催しました。会場となったホテルのご協力の...

十分に確保できる広すぎる会場で、ドアを開けてマスクをしながら校歌斉唱...

存在になつていまずを嘆息として、多くの岩手の人々が渡つてきて...

率、の計3回、北海道を訪れ、心象風景を詩に残しています。最近では、...

札幌白聖同窓会

※令和3年度より改名



在京白聖会

会長 戸田純 (昭和48年卒)



皆様、こんにちは、在京白聖会です。在京白聖会は、1968年盛岡一高が甲子園でベ...

東京でも校歌を歌える場を作ろうということで創立されました。...

50年を過ぎました。50周年の時は、在京白聖会50年の歩み(200ページ超)を発行しました。

しかし、コロナ禍の2020年、2021年は白聖芸術祭以外の活動は自粛しており、年1回の総会も開催することはできません。

平石白聖会

会長 杉澤敏明 (昭和40年卒)

創立150周年に向けて

新型コロナウイルス感染拡大は、首都圏等の再三の緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の発令...

元年6月に第52回の定時総会を開催して以来、コロナ禍のため、定時総会は...

し、歓談後に入学お祝いとして図書カードを贈呈することができました。



出席に面談 人(当日6人)



事務局 古館謙護 (昭和47年卒)

オリオン会 (花巻白聖会)

代表世話人 三田望 (昭和39年卒)

花巻「オリオン会」の今昔



1. オリオン会をただの同窓会と侮るな。そのルーツは大正時代に遡る。...

2. 戦後、世の中が落ち着いてくると、卒業生の間にオリオン会復活の気運が芽生えた。...

3. 平成13年からはホテル花巻に場を移し、年2回(5月13日、12月13日)開催してきた。...

の経つのを忘れる程である。及川洋司(昭和53年卒)のジャズピアノや玉木光子(昭和54年卒)のヴォイオラ演奏...

盛岡一高硬式野球部後援会

会長 駒木進 (昭和45年卒)

毎年7月全国高等学校野球選手権(夏の甲子園大会)の時期になると、今年我が校野球部はどうなの?と気になる。...

と、当後援会が野球部OBで組織され、現在約600名の会員で構成されています。...

動としては、4月総会、7月監督・コーチ激励会、1月新年会とOB相互の親睦を図る活動と、...

題になりました。昭和53年以降、県大会決勝には昭和61年・平成5年・平成21年と3度進出しましたが、...

最後に、現在野球部は川又監督・中野部長(両平成3年卒)・小瀬川副部長(平成10年卒)3名が選手たちの指導にあたっております。...



### 3年7組 阿部 恭子

## 生物部

生物部は、全国総合文化祭自然科学部門に7年連続で出場することができました。研究発表部門で「河川上流部の底生動物による総合的な環境の評価法、ポスター（パネル）発表部門で「市街地における腐肉食性昆虫群集の遷移」という2つのテーマで発表を行いました。どちらも自らの足で何度も調査を行い、大量のデータをまとめ、考察するのを、地道な努力を積み重ねるものでした。その成果として、研究発表部門では、奨励賞45位相当を受賞することができました。審査員の先生からは、野外調査の多くのデータの積み重ねや、丁寧な解析を評価していただきました。

今年度は、感染症対策として参加校を3グループに分けることで会場での密状態を防止し、開会式と閉会式は、インターネット配信となりました。そのため、他校の発表を見学できたのは、同じグループの高校のみで少し残念でしたが、全国レベルの研究に接触することができ、とても充実した大会となりました。



### 2年2組 鷲見 達也

## 美術部

私は、和歌山市で行われた全国高等学校総合文化祭に参加してきました。全国から集まった絵画や立体、デザインなどをたくさん見ることができ、これからの制作で参考にしたいと思える作品が多くありました。交流会では和歌山の名産品である紀州備長炭を使い、箸置き制作を行いました。また、講演会では、多摩美術大学で教授を務め、美術家として活動している野田裕示さんの講演を聞きました。その中で、写実的な表現だけではなく、その題材にしかできないような表現についてのお話がありとても興味を持ち、現在制作中の作品に活かすことができました。

私は、美術館にあまり行きませんが、今回の経験を通して自分以外の人の作品を見る楽しさやよくわかり、これから積極的に取り組んでみたいと思います。また、美術への関心が高まり、今後の部活動では、これまで以上に集中して制作を行い、良い作品を描いていきたいと思いました。



### 2年3組 元村 心

## 放送委員会

昨年は、新型コロナウイルスの影響でWeb上での開催となりました。しかし今年、和歌山県での全国大会が実施され、生で作品を見たり、読み聞いたりすることができて、本当にうれしく思いました。制作の段階で、ドキュメント作品では取材に行ける回数が少なく、あまり多くの素材を撮ることはできませんでしたが、自分たちの満足度の高い作品を作り上げようという一心でそれぞれの作品を作り上げました。ドラマ作品では演劇部などほかの部活の方とも協力して撮影を行いました。なかなかスケジューリングができませんでしたが、最後には自分たちの思い描いた作品を作り上げることができました。結果としては入賞することができず残念でしたが、たくさんの方の励みを受け、良い機会になりました。次の大会では、入賞を果たせるように頑張っていきたいと思えます。最後になりますが、日頃から取材に協力してくださる全ての方々に本当に感謝しています。



### 部活動の記録

令和2年12月・令和3年11月の大会結果について

#### 運動部

◎柔道部  
 全国高等学校剣道連盟大会若手県選考会  
 男子団体 盛岡 1-2 花巻北  
 女子団体 盛岡 1-2 花巻北  
 準々決勝 盛岡 1-3 盛岡南  
 準決勝 盛岡 1-3 盛岡南  
 決勝 盛岡 1-3 盛岡南

◎剣道部  
 全国高等学校剣道連盟大会若手県選考会  
 男子団体 盛岡 1-2 花巻北  
 女子団体 盛岡 1-2 花巻北  
 準々決勝 盛岡 1-3 盛岡南  
 準決勝 盛岡 1-3 盛岡南  
 決勝 盛岡 1-3 盛岡南

◎バドミントン部  
 全国高等学校バドミントン競技大会  
 男子個人 盛岡 1-2 花巻北  
 女子個人 盛岡 1-2 花巻北  
 準々決勝 盛岡 1-3 盛岡南  
 準決勝 盛岡 1-3 盛岡南  
 決勝 盛岡 1-3 盛岡南

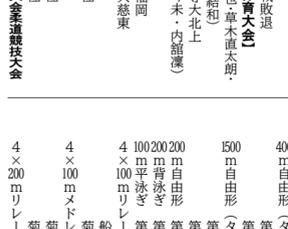


#### ◎サッカー部

第73回若手県高等学校サッカー大会  
 男子個人 盛岡 1-2 花巻北  
 女子個人 盛岡 1-2 花巻北  
 準々決勝 盛岡 1-3 盛岡南  
 準決勝 盛岡 1-3 盛岡南  
 決勝 盛岡 1-3 盛岡南

#### ◎水泳部

第70回全国高等学校水泳選手権大会  
 男子個人 盛岡 1-2 花巻北  
 女子個人 盛岡 1-2 花巻北  
 準々決勝 盛岡 1-3 盛岡南  
 準決勝 盛岡 1-3 盛岡南  
 決勝 盛岡 1-3 盛岡南

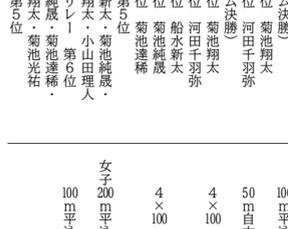


#### ◎バレーボール部

第70回全国高等学校バレーボール大会  
 男子個人 盛岡 1-2 花巻北  
 女子個人 盛岡 1-2 花巻北  
 準々決勝 盛岡 1-3 盛岡南  
 準決勝 盛岡 1-3 盛岡南  
 決勝 盛岡 1-3 盛岡南

#### ◎バスケ部

第70回全国高等学校バスケットボール大会  
 男子個人 盛岡 1-2 花巻北  
 女子個人 盛岡 1-2 花巻北  
 準々決勝 盛岡 1-3 盛岡南  
 準決勝 盛岡 1-3 盛岡南  
 決勝 盛岡 1-3 盛岡南

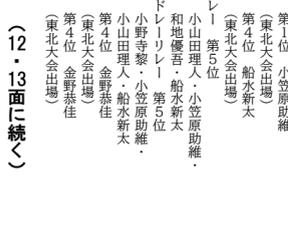


#### ◎卓球部

第70回全国高等学校卓球選手権大会  
 男子個人 盛岡 1-2 花巻北  
 女子個人 盛岡 1-2 花巻北  
 準々決勝 盛岡 1-3 盛岡南  
 準決勝 盛岡 1-3 盛岡南  
 決勝 盛岡 1-3 盛岡南

#### ◎テニス部

第70回全国高等学校テニス選手権大会  
 男子個人 盛岡 1-2 花巻北  
 女子個人 盛岡 1-2 花巻北  
 準々決勝 盛岡 1-3 盛岡南  
 準決勝 盛岡 1-3 盛岡南  
 決勝 盛岡 1-3 盛岡南



#### ◎射撃部

第70回全国高等学校射撃大会  
 男子個人 盛岡 1-2 花巻北  
 女子個人 盛岡 1-2 花巻北  
 準々決勝 盛岡 1-3 盛岡南  
 準決勝 盛岡 1-3 盛岡南  
 決勝 盛岡 1-3 盛岡南

#### ◎空手道部

第70回全国高等学校空手道大会  
 男子個人 盛岡 1-2 花巻北  
 女子個人 盛岡 1-2 花巻北  
 準々決勝 盛岡 1-3 盛岡南  
 準決勝 盛岡 1-3 盛岡南  
 決勝 盛岡 1-3 盛岡南



### 3年3組 菅野 蓮未

## 柔道部

私は8月8日から長野県長野市で開催されたインターハイ柔道競技に参加してきました。新型コロナウイルスの影響により、他校との練習の制限等、自分の実力を磨く場も限られていたため、不安も大きかったのですが、全国大会という大きな舞台で自分の道が通用するよう、精一杯日々の稽古に取り組みました。結果は初戦敗退という悔しいものでしたが、インターハイの会場で試合ができたこと、そして、レベルの高い試合を近くで見ることができたことも、とても良い経験となりました。この経験から学んだことを、しっかりと後輩に引き継ぎ、次回以降の大会ではさらに上を目指して頑張っていきたいと思います。

最後に、今回このような大きな大会に参加することができたのは、たくさんの方のおかげです。場をお借りして、私たちの活動にご支援・ご協力いただきました。そして、ありがとうございました。感謝申し上げます。ありがとうございます。



### 3年2組 佐藤 里咲

## 登山部

今回私たちが登山部女子は福島県山形市で行われたインターハイに出場してきました。その結果3位入賞を果たすことができました。目指していた1位を取ることはできませんでしたが、メダルを手にするのができ、それ以上に多くの方のサポートがあつてきたと思います。登山という競技は私たちがただで成り立ちません。開催地域の方やスタッフの皆さんなど本当に多くの方のサポートがあつてこそ私たちは山に登ることが出来ます。特にこの新型コロナウィルスという状況下ではそのことを強く感じました。今回インターハイに参加して、普段は会うことができない全国の山を登る仲間と会うことができ、貴重な体験をすることができました。後輩には、今回得たことを糧に、これからも頑張ってもらいたいと思います。

最後に、白聖同窓会の皆様顧問の先生、そして応援してくださった皆様、本当にありがとうございました。



### 3年3組 上平 佳歩

## バドミントン部

私は、今年の夏に富山県で行われた、全国高等学校総合文化祭バドミントン競技大会女子ダブルスにて、2年生の長山紗千さんと参加してきました。コロナ禍で、練習試合などの実戦練習を思うようにできない状況でしたが、バドミントンの仲間達と練習方法を工夫したり、自分たちで自主練習を行ったり、県の強化合宿に参加したりしながら当日を迎えることができました。結果は、強豪作新学院を相手に初戦敗退となりましたが、ミスがない速く正確な球回しなど、全国トップレベル選手の实力を知ることができた有意義な大会となりました。この経験で、これから競技生活に生かしていきたいと思えます。

最後になりましたが、白聖同窓会の皆様、最後まで支えて下さった顧問の先生方、応援してくださったすべての方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。



### 3年3組 高橋 海音

## 空手道部

私は富山県で開催された令和3年度全国高総体空手道競技大会、男子個人形の部に出場しました。結果は第1ラウンド敗退でしたが、全国の舞台でしか味わうことのできない緊張感の中で試合ができたことは良い経験となりました。さておいて盛岡一高に空手道部なるものが存在しないにも関わらず、私が一高の生徒として大会に参加できたことは、出場を認めて下さる学校長始め学校関係者の皆様並びに奨励金という形で応援して頂いた同窓会の御協力のおかげです。特に担当の佐々木康裕先生には、御多忙の中のところ参加手続きや宿泊先の手配など様々な面で協力して頂きました。御協力頂いた皆様には大変感謝しております。

今後とも格闘技が続けますが、常に誰かの協力があつて自分の練習、試合ができていくという自覚を持ち、一瞬一瞬に全力で取り組みたいことを意識していきたく思っています。そして次こそは結果で応えられるよう努力します。



### 1年7組 島山 空

## 囲碁将棋部 (碁部部門)

僕は東京より西には行ったことがありませんでした。これまで僕にとつては、東京が最西端の場所だったのですが、最近僕が和歌山に行きました。初めての場所というところもあり、大会前日の列車移動で疲れたというところもあり、僕の高総文祭1日目の碁は酷い目でした。

1回戦目の相手は兵庫県でした。相手は6段でした。僕は四段で勝つて相手ではありませんでした。それでも一矢報いようとしたのですが、序盤で負けてしまいました。全国のレベルの高さを知りました。その後の試合は接戦で負けてしまふことが多く、結局団体としては1勝5敗、個人としては2勝で終わりました。今回の大会では結果を残すことはできませんでした。しかし、得ることは多かったように思えます。今年の新人戦、来年度の大会に向けて強くなりたいと思います。次は勝ち越し、それを目標にこれからの部活動に励んでいきたいと思っています。



### 2年5組 及川 瑞希

## 囲碁将棋部 (将棋部門)

これは、私にとって高校入学後初の全国大会でした。昨年は新型コロナウイルスの影響で中止となり、悔しさのあまり沢山泣いたのを覚えています。そのため今年の夏にかける気持ちは人一倍です。結果は女子団体5位、個人ベスト16と惜しくも目標の優勝には届きませんでした。全国という舞台での1勝の重みを感じました。

また、緊張感のある会場での対局することは精神的にも鍛えられ、学ぶことが多かったです。しかし、自分の力を最大限発揮し、仲間と共に大きな舞台で将棋を指せたことが誇りに思います。厳しい社会状況の中だからこそ、普段大会を開催できることがどれだけ特別なことか改めて実感しました。

この思いを胸に、来年は優勝を達成できるように頑張ります。支えてくれる周りの人へ感謝の気持ちを忘れず、これからも一所懸命部活に励みます。



### 3年2組 吉田 絢咲

## 書道部

紀の国わかやま総文2021では、コロナ禍により、密や対面での交流を避けた形での交流が行われました。交流会では紀州漆器にちなんで、漆器風の文鎮に好きな漢字1文字を金色の塗料で書くという活動で、私は、今回の作品である甲骨文で「字」を甲骨文字で書きました。また、結実の美「という共同作品には、青春の夢に忠実であれ」という言葉を記しました。鑑賞会は、班員の作品への鑑賞カードを書き、交換しました。講評会では、審査員の方々の視点や、大会の傾向などを学ぶことが出来ました。自分の作品の評価も受けて、自分が伝えたいメッセージの持つ魅力や楽しさを伝えることが出来たのではないかと感じました。

全国という場で特別賞を貰えたこと、本当にありがたく思っています。今学年のこと、感じたことを後輩や周りの人達にも伝え、もっと書道の魅力を広めるとも、自分のこれからの活動にも活かしていきたいです。





# 白聖城 点描'21



よ市(盛岡市材木町)での書道部パフォーマンス



コロナウイルス感染症予防対策により間隔をとって校庭で実施した夏の応援歌練習



卒業生も多数参加した吹奏楽部定期演奏会(岩手県民会館)



大運動会M門のデザインを美術部が担当  
今年のテーマは「風神雷神」



達増拓也岩手県知事(昭和59年卒)による1年生への卒業生講演会



白聖祭での茶華道部お点前披露



岩手県Kenji Cup高校生英語ディベート大会ベストディベーター賞受賞の島田澤さん(2年)



第30回全国高等学校文化連盟将棋新人大会出場の及川瑞希さん(2年)



全日本合唱コンクール東北支部大会出場で13年ぶりの金賞受賞



故佐藤牧子先生(本校国語教諭 本年4月逝去)の脚本で県高総文祭演劇発表会において優秀賞1席(2位相当)受賞



科学の甲子園県予選1位で全国大会出場決定



全普通教室に冷房機器設置完了